

# 県内経済の動き

## 概況

〔2020年8月～2020年10月の動き〕

### 新型コロナウイルスの影響続くも、一部に持ち直しの動き

鉱工業生産指数（8月）は11カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（9月 細島港）は7カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（9月 全店ベース）は7カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（10月）は13カ月ぶりに前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（9月）は5カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（10月 保証対象請負総額）は8カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（9月）は前月比0.03ポイント下落の1.11倍で、10月の企業倒産は前月比1件増の2件、負債額は同8百万円減の62百万円となった。

一部の指標には改善の兆しもみられる。コロナ禍の先行きは不透明であるが、大型商業施設開業等の明るい話題もあり、今後の景気動向を注視したい。